

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 9日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 2日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実度が高い	月に一度、日々の活動案を職員全員で出し合っている	手持ち無沙汰な状況にならないようメインの活動以外にも個別や小集団で取り組める活動を取り入れていく
2	送迎時間、児童に対する対応等、臨機応変に応じることが出来る	保護者様からの連絡が職員全員に迅速に周知され、空いている職員が対応している。 お迎え時間の変更等がある際も、職員で連携を取りながら対応している	職員同士、声をかけあいご利用様が安心・安全に過ごせる場となるよう意識を高めていく
3	職員の関係性が良好である	連携、共有を徹底して行っている 気付いたことをお互いに話し合える関係性がある	月に一度個人面談の機会を設け、気軽に意見を伝えられる環境を作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーな環境ではない	トイレが狭いのと手すり等がないので介助に時間がかかる場合がある	手すりの設置や効率良く介助が出来る方法を検討していく
2			
3			